

公開実用平成 1-59481

④ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 実用新案出願公開

⑨ 公開実用新案公報 (U) 平 1-59481

⑪ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 平成 1 年 (1989) 4 月 14 日

A 47 K 3/00

Z-6434-2D

審査請求 未請求 (全 頁)

⑨ 考案の名称 泡浴装置

⑥ 実 願 昭 62-155438

⑥ 出 願 昭 62(1987)10 月 9 日

⑦ 考 案 者	岩 崎	一 男	兵庫県神戸市中央区明石町 32 番地	株式会社ノーリツ内
⑦ 考 案 者	能 田	明 善	兵庫県神戸市中央区明石町 32 番地	株式会社ノーリツ内
⑦ 考 案 者	金 沢	光 哲	兵庫県神戸市中央区明石町 32 番地	株式会社ノーリツ内
⑦ 出 願 人	株 式 会 社	ノー リ ッ	兵庫県神戸市中央区明石町 32 番地	

明 細 書

1. 考案の名称

泡浴装置

2. 実用新案登録請求の範囲

泡浴室に連通して設けられたせつけん液槽と、該せつけん液槽への供給空気を微細化する供給空気微細化手段と、該供給空気微細化手段に接続された空気供給源と、前記空気に芳香を付加する芳香剤とからなる泡浴装置。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案はせつけん泡に浴して体の汚れを落す泡浴装置に関するものである。

(従来技術)

従来においてせつけん泡をシャワーカプセル等の泡浴室において浴する健康的な泡浴装置は未だ開発されていない。

(考案が解決しようとする問題点)

本考案は以上の従来の問題を解決し自動的に作られたせつけん泡に浴して体の汚れを落すこ

(1)

807

公開実用平成 1—59481

との出来る泡浴装置の提供を目的とする。

(問題点を解決するための手段)

本考案は以上の目的達成のために泡浴室に通して設けられたせっけん液槽と、該せっけん液槽への供給空気を微細化する供給空気微細化手段と、該供給空気微細化手段に接続された空気供給源と、前記供給空気に芳香を付加する芳香剤とからなる泡浴装置を提案するものである。

(作用)

本考案の装置は実用新案登録請求の範囲に記載した構成であり、特に自動的にせっけん泡が作られるため該せっけん泡に浴するだけで容易に体の汚れを落すことが出来る。

本考案の装置は同上の構成であり、特にせっけん液と空気のみでせっけん泡を作れるため入浴に要するコストが安い。

本考案の装置は同上の構成であり、特にせっけん泡を作る空気に芳香が付加されるため泡浴室は芳香で満されて快適な入浴が楽しめる。

(実施例)

(2)

以下本考案の泡浴装置を図面に示す実施例に従い説明する。

第1、2図は本考案の泡浴装置を示し、該装置はシャワーノズル(A)を側壁並びに天井部に備えたシャワーカプセル内の泡浴室(2)に連通して設けられたせっけん液槽(3)を有する。

該せっけん液槽(3)はせっけん液タンク(6)からせっけん液が供給可能にされる。

すなわちせっけん液槽(3)は弁(7)が装着された液路(5)によりせっけん液タンク(6)に接続されている。せっけん液タンク(6)は弁(21)を介してせっけん原液タンク(22)と、弁(23)を介して温水供給管(24)と接続され、水位検出器(25)の低水位検出で両弁(21)、(23)が開となって所定の流量比(即ち液濃度が1:50~1:100となるように)で温水とせっけん原液が供給され、水位検出器(25)の高水位検出で上記供給が停止される。尚、(26)は電気ヒータでせっけん液を所定温度(例えば60°C)に保持する為のものであり、又せっけん液の濃度均一化の為にポ

(3)

ンプ (27) によりせつけん液を循環させる攪拌手段 (28) が設けられている。

せつけん液槽 (3) は例えば深さ 20 ~ 50 mm 程度
のように
にされ、前記した液濃度 1 : 50 ~ 1 : 100 で 60 °C
程度のせつけん液が供給される。



次に洗剤液槽 (3) の底面には多孔質板等の供給
分散
給空気を微細化させながら通過させる供給空気
微細化手段 (4) が設けられる。



該供給空気微細化手段 (4) の裏面は空気路 (9) を介してコンプレッサー等の空気供給源 (10) に接続される。

又前記せつけん液槽 (3) は弁 (12) が装着された液排出路 (11) により排出可能にされる。

次に空気路 (9) (図示の実施例では空気供給源 (10) の入口) には芳香剤 (15) が装着される。尚、芳香剤 (15) は図示しないがカートリッジ式構成として異なる香りの芳香剤 (15) を選択できるようにしてある。

以上の実施例に示した本考案の泡浴装置の作用は次の通り。

まず泡浴時には弁 (12) が閉じられた状態で弁 (7) が開かれせっけん液タンク (6) からせっけん液槽 (3) にせっけん液が流し込まれ、せっけん液タンク (6) の水位検出器 (25) が低水位を検出すると弁 (7) が閉じられる。

次に空気供給源 (10) を駆動しここから供給空気微細化手段 (4) の裏面に空気が供給される。

これにより空気はせっけん液槽 (3) へ分散微細化して供給されせっけん液からせっけん泡 (14) を生じさせる。

このせっけん泡 (14) はアルカリ性であるため皮膚表面の角質の除去に有効である。

せっけん泡 (14) は泡浴室 (2) 内に充填しこの内に使用者が入りせっけん泡浴をするのである。

このせっけん泡浴時においてせっけん泡 (14) を形成する空気は芳香剤 (15) により芳香が付加されているためせっけん泡 (14) の破裂時に芳香が発散することになる。

すなわち泡浴室 (2) は芳香で満されて入浴者は快適な入浴が楽しめることになる。

シャボン泡浴が終了すれば空気供給源 (10) を
停止させる。

次に弁 (12) を開いて液排出路 (11) からシャボ
ン泡 (14) を水と共に流し出す。

(考案の効果)

本考案の泡浴装置の実施例は以上の通りであ
りその効果を次に列記する。

- (1) 本考案の装置は実用新案登録請求の範囲
に記載した構成であり、特に自動的にせっ
けん泡が作られるため該せっけん泡に浴す
るだけで容易に体の汚れを落すことが出来
る。
- (2) 本考案の装置は同上の構成であり、特に
せっけん液と空気のみでせっけん泡を作れ
るため入浴に要するコストが安い。
- (3) 本考案の装置は同上の構成であり、特に
せっけん泡を作る空気に芳香が付加される
ため泡浴室は芳香で満されて快適な入浴が
楽しめる。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案の一実施例を示す全体斜視図
、第 2 図は同要部の拡大断面図である。

(2) . . . 泡浴室

(3) . . . せっけん液槽

(4) . . . 供給空気微細化手段

(10) . . . 空気供給源

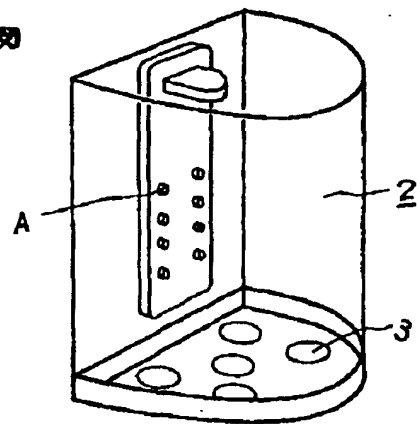
(15) . . . 芳香剤

実用新案登録出願人

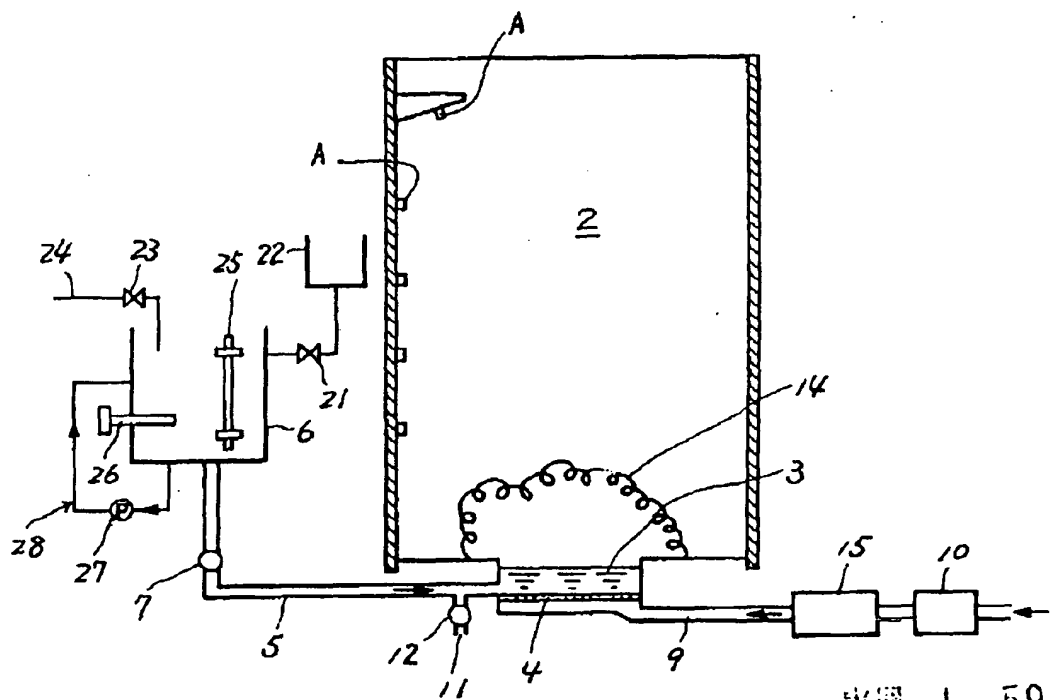
株式会社 ノーリツ

代表者 太田敏郎


第1図



第2図



実用 1-5948

出願人 株式会社 
代表者 太田 敏郎